TV Multi Format Switcher

マルチフォーマットスイッチャー

型番: EXT-TV-MFS

取扱説明書

2010年2月版

安全上の注意

この度はGefen製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には製品扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が盛り込まれています。将来にわたるご使用のためにも、製品の梱包箱と取扱説明書は保存していただくことを強くお奨めいたします。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠ 警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず製品付属のACアダプターを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。
- AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
  直射日光の当たる場所/極度の低温または高温の場所/湿気の多い場所/ほこりの多い場所/振動の多い場所/風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

目次

安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

リモコン操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

IRリモコンの準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

RS-232仕様　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

はじめに

EXT-TV-MFSは、アナログ、デジタルHDビデオソースをHDMI信号（1系統）に変換して出力する事が可能ですので、コンピューター、CS/BSセットトップボックス、Blu-ray、ゲーム機など様々な次世代機器の対応しております。また、アナログ、デジタル(HDMI)の音声入力に対応し、アナログ音声をエンベデットしてHDMI出力する事も可能です。
※この製品はスケーラー機能はありません。

- HDMI Ver1.3対応
  225MHz(12bit YUV444@1080p,24/60Hz)
  Deep Color(xv Color)12bit
  Dolby TrueHD ,DTS Master Audio
  Lip-Sync,De-interlacing
- 全ての信号は、デジタル（HDMI）で出力
- HDCP対応
- 480i/576iのソースを480p/576pへ変換するDe-interlacing機能を選択可能
- Audio delay 機能
- 3D ノイズリダクション、3Dコムフィルター
- フロントパネル、IRリモコン、RS-232で切替え可能
- ラックマウンド可能
- HDCP対応

同梱品

本体	1
5v電源アダプター（EXT-PS54AU）	1
HDMIケーブル（1.8m）	1
IRリモコン（EXT-RMT-MFS）	1
ラックマウント金具	1

※同梱品は都合により変更されることがあります。

インストール

1. マルチフォーマットスイッチャーのHDMI出力と表示機器を接続してください。
2. 使用するフォーマットに合わせてマルチフォーマットスイッチャーの入力端子と接続してください。
   - コンポーネント ：前面⑥、背面⑧
   - S-Video ：前面④、背面⑥
   - コンポジット ：前面②、背面④
   - HDMI ：前面① 背面⑫,⑬
   - 各信号の音声入力を接続してください。

3. 付属の電源アダプターを接続してください。
4. 表示機器の電源と各ソース機器の電源を投入してください。
5. マルチフォーマットスイッチャー本体前面の入力選択ボタンか付属のIRリモコンでソース機器に切り替える事ができます。
6. 本体での切替えを行う場合には、本体にある使用したいA/Vソースのボタンを押してください。
7. IRリモコンを使用して切替えを行う場合には、IRリモコンの各A/Vソースボタンを押してください。（6ページを参照）
8. オーディオディレイ機能を使用する場合には、本体背面の「Audio Delay」ボタンを押してください。
9. 480i(576i)信号を480p(576p)で出力する場合には、「De-interlacing」ボタンを押してください。LEDが点灯している時に「De-interlacing」機能が動作しています。この機能は、480i(576i)信号が入力されているときにのみ動作します。

※有効出力解像度は、480i/576iから1080p@60Hz / 1920x1200@60Hzのビデオおよびコンピューター解像度に対応していますが、スケーラー機能はありませんので、入力されている信号の解像度で出力されます。

※VGA入力を選択した際に表示された画像に滲みの様なものなどがみられた場合には、出力解像度を現在の解像度よりも低解像度に設定してください。

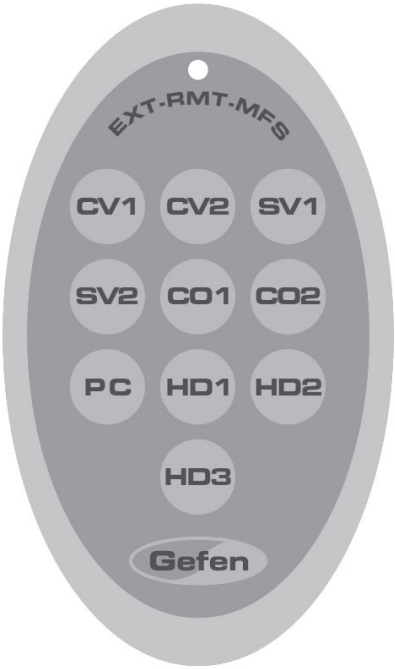
リモコン操作方法

・IRリモコンのボタンは以下の入力に対応しています。

・コンポジット　：　入力１＝CV1　　入力２＝CV2
・S-Video　　：　入力１＝SV1　　入力２=SV2

・コンポーネント　：　入力１＝CO1　　入力２＝CO2
・VGA　　：　入力　＝PC
・HDMI　　：　入力１＝HD1　　入力２=HD2　　入力３＝HD3

IRリモコンの各ボタンを押すことで切替えを行います。
入力ソースを切り替えると、選択した入力ソースのLEDインジケーター（本体前面）が点灯します。



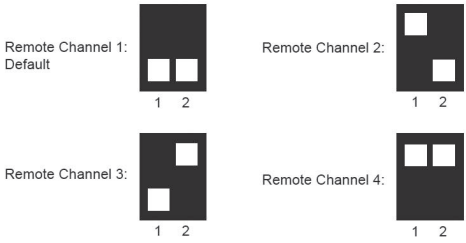
IRリモコンの準備

1. リモコン背面の凸のある部分を下に軽く押しながらスライドさせ、電池カバーを取り外します。
2. 付属のボタン電池の+極が上に来るようにして、金具のつめが電池を上からホールドする形になるよう電池をはめ込んでください。（リモコンに必要な電池は1つだけです。2個取り付ける必要はありません。）
3. 電池カバーを閉め、ボタンを交互に押してリモコン上部のインジケーターが光る（一瞬）事を確認してください。

※リモコンの操作にあたり、複数のボタンを同時に押したり、切替え動作を急速に行ったりしないでください。故障の原因となります。

〈リモコン操作で他社製品が動作してしまう場合〉

付属のリモコンを操作すると、マルチフォーマットスイッチャー以外の機器が動作してしまう場合があります。
これは同一のリモコンコードを使用しているためで、この問題の解決にはマルチフォーマットスイッチャーの使用するリモコンコードを変更する必要があります。
リモコン背面の電池カバーを取り外して中央にあるディップスイッチを確認してください。マルチフォーマットスイッチャーでは、工場出荷時の設定(1&2=OFF)を含めて4通りのリモコンコードを使用する事ができます。ディップスイッチを一つずつ切替えて、ご使用になられている他の機器と干渉しないコードを探してください。

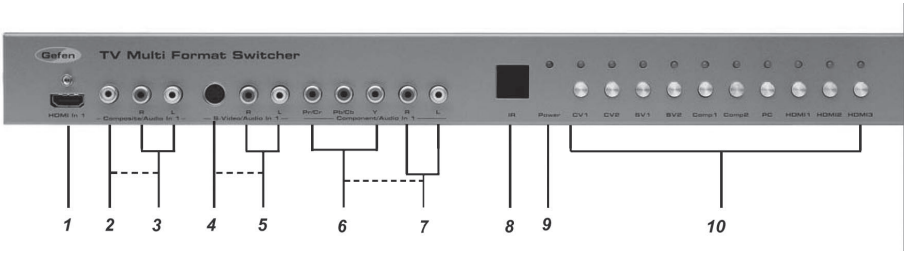


オプションのIRエクステンダー（EXT-RMT-IREXT）を使用し、バックヤードなどに本体を設置して使用することも可能です。

各部名称

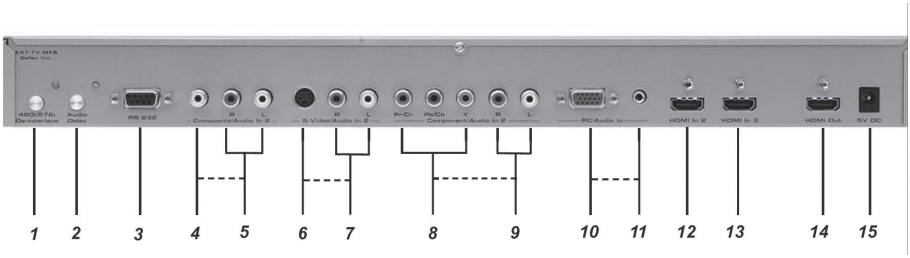
正面

①HDMI入力 1　　：HDMI機器を接続します。
②コンポジットビデオ入力　：コンポジットビデオ機器を接続します。
③アナログオーディオ入力　：②のコンポジットビデオ入力と連動しています。
④S-Video入力　　：S-Video出力機器を接続します。
⑤アナログオーディオ入力　：④のS-Video入力と連動しています。
⑥コンポーネントビデオ入力：コンポーネントビデオ出力機器と接続します。
⑦アナログオーディオ入力　：⑥のコンポーネントビデオ入力と連動しています。
⑧IR受光部　　：IRリモコンの信号受光部です。
⑨パワーインジケーター　　：電源が入っているときRED LEDが点灯します。
⑩入力インジケーター　　：選択されている入力のインジケーターが点灯します。また、ボタンを押すことで入力切替えをする事が可能です。



背面

①480i/576i De-Interlaceボタン
②Audio Delayボタン　：オーディオディレイの入/切の設定ができます。
③RS-232ポート　：シリアルコントロールをする際に使用します。
④コンポジットビデオ入力　：コンポジットビデオ機器を接続します。
⑤アナログオーディオ入力　：④のコンポジットビデオ入力と連動しています
⑥S-Video入力　：S-Video出力機器を接続します。
⑦アナログオーディオ入力　：⑥のS-Video入力と連動しています。
⑧コンポーネントビデオ入力　：コンポーネントビデオ出力機器と接続します。
⑨アナログオーディオ入力　：⑧のコンポーネントビデオ入力と連動しています。
⑩VGA入力　：コンピューターなどのVGA出力と接続します。
⑪3.5mmオーディオ入力　：⑩のVGA入力と連動しています。
⑫HDMI入力2　：HDMI機器と接続します。
⑬HDMI入力3　：HDMI機器と接続します。
⑭電源入力端子　：付属の電源アダプターを接続します。



RS-232仕様

■RS-232設定

Bits per second:19200
Data bits:8
Parity:None
Stop bits:1

■コマンド

Command Code	Response	Description
S POWER 0	> POWER OFF	POWER OFF
S POWER 1	> POWER ON	POWER ON
S SOURCE 0	> SOURCE HDMI1	HDMI1 INPUT
S SOURCE 1	> SOURCE HDMI2	HDMI2 INPUT
S SOURCE 2	> SOURCE HDMI3	HDMI3 INPUT
S SOURCE 3	> SOURCE PC	PC INPUT
S SOURCE 4	> SOURCE COMP1	COMPONENT1 INPUT
S SOURCE 5	> SOURCE COMP2	COMPONENT2 INPUT
S SOURCE 6	> SOURCE SV1	SV1 INPUT
S SOURCE 7	> SOURCE SV2	SV2 INPUT
S SOURCE 8	> SOURCE CV1	CV1 INPUT
S SOURCE 9	> SOURCE CV2	CV2 INPUT
S AUDIODELAY 0	> AUDIODELAY OFF	OFF : NO DELAY
S AUDIODELAY 1	> AUDIODELAY ON	ON : DELAY 150ms
S SD_ITOP 0	> 480i/576i TO 480p/576p OFF	OFF : NO 480i/576i TO 480p/576p
S SD_ITOP 1	>480i/576i TO 480p/576p ON	ON : 480i/576i TO 480p/576p
S RESET 1	> RESET ON	RESET ACTION

Command Code	Response	Description
R POWER	> POWER ON~OFF	SHOW POWER STATUS
R SOURCE	> SOURCE HDMI~CV	SHOW SOURCE STATUS
R AUDIODELAY	> AUDIODELAY OFF~ON	SHOW AUDIO DELAY STATUS
R SD_ITOP	>480i/576i TO 480p/576p OFF~ON	SHOW 480i/576i TO 480p/576p STATUS
R FW_VER	> FIRMWARE VERSION : Vx.xx	SHOW FIRMWARE VERSION

仕様

ビデオアンプ帯域 (デジタル)	：225MHz
ビデオアンプ帯域（アナログ）	：350MHz
最大解像度	：1080p / 1920x1200@60Hz
入力 DDC 信号	：5 Volts p-p(TTL)
入力ビデオ信号	：1.2 Volts p-p
HDMI 入出力端子	：Type A 19pin メス
コンポーネント入力端子	：3 RCA(YPbPr)
コンポジット入力端子	：1 RCA (CVBS)
S-Video 入力端子	：4pin mini-DIN
アナログオーディオ入力端子	：RCA(L+R)、3.5mm ステレオミニ
電源	：5V DC
消費電力	：13W（最大）
サイズ（mm）	：46H x 439W x 160D
電源アダプター	：5V DC 重量：2.0kg

※製品の外観、仕様は予告なく変更になる事があります。

HIBINO
ヒビノインターサウンド株式会社
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp http://www.hibino-intersound.co.jp/